

**授業概要**

～使える韓国語～

韓国語Ⅱでは、基本的には「韓国語Ⅰ」を履修した学生を対象とし、やさしい中級レベルの韓国語を学ぶ。韓国語を通して異文化を経験し、韓国社会についての知識や理解を一層深めることを目的とし、初級の授業で習得した基礎的知識を広げ、韓国社会において必要なコミュニケーション能力の向上を目指したいと思う。学生のレベルに合わせ、韓国関連の事項、韓国学生の大学生活、書物、ドラマ、映画、音楽など、文化に触れながら会話を中心にリスニング、読解を同時に行っていく。さらに、在学中の留学や卒業後、韓国係会社の就職を考える学生のためにも韓国語能力試験2～3級を目指したいと考えている。

**授業計画**

第1回	授業の進め方、評価法の概略、初級の復習 韓国語と日本語の相違—「インターネットの検索及びハングル入力方法」	
第2回	自己紹介・インタビューをする—「相手の職業・趣味などを聴く」	
第3回	世界の天気	
第4回	場所と物の説明—指示代名詞「これ、それ、あれ」	
第5回	動詞・形容詞の「ㄹ체～ます形の作り方」①	*リスニング・文化体験①（20分）
第6回	動詞・形容詞の「ㄴ다체～ます形の作り方」②	*リスニング・文化体験②（20分）
第7回	存在の有無を表す表現「ある・いる」	*リスニング・文化体験③（20分）
第8回	道を聞く—「場所の説明」	*リスニング・文化体験④（20分）
第9回	電車の乗り換え—「丁寧な命令形～てください」	*リスニング・文化体験④（20分）
第10回	買い物—「お金の数え方」	*リスニング・文化体験⑤（20分）
第11回	大学生活—「時間を言う」	*リスニング・文化体験⑥（20分）
第12回	週末のこと—「過去形」	*リスニング・文化体験⑥（20分）
第13回	韓国料理を食べる—「好きなもの」	*リスニング・文化体験⑦（20分）
第14回	歴史・映画①「1980年代の韓国社会を中心に」	
第15回	歴史・映画②「国家権力と個人を考える」・まとめ	
第16回	試験	

**到達目標**

1. 接続語尾の活用を自由に使い、文をつなげることができる。
2. 韓国語・韓国文化を通して、他者への理解を深めコミュニケーション能力を高める。
3. 学生に韓国語スピーチ大会参加や韓国語能力試験2～3級を目指せる。

**履修上の注意**

1. 外国語の授業なので、ペアで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. 「韓国語Ⅰ」の履修者が望ましい。
3. 履修した場合は、韓国語能力試験2～3級が受けられるレベルになる。

**予習復習**

1. 予習については、毎回、提示されるテキストを読んできてくこと。
2. 復習については、毎回、提示される課題をやってくこと。

**評価方法**

平常点（50点—授業の参加度・小テスト・課題・会話演習・発表）、試験（50点）を予定している。

**テキスト**

主にプリント教材を配布する。より興味のある学生は下記のテキストを参考にすること。  
\*参考書—金順玉・阪堂千津子・崔栄美著『ちよこっとチャレンジ韓国語』白水社（CD付）（2,592円）